

政務活動費 活動実績報告書

令和6年7月17日
高橋信広

件名	セミナー受講
使途	1 調査研究費 2 研修費 5 要請・陳情活動費
金額	35,180円 (内、セミナー受講料 30,000円)
期日	令和6年7月13日 (土) 10:00~12:30 14:00~16:30
目的	決算審議における重要ポイントを学び、今後の決算審査に対する質疑等のレベルアップを図ることを目的とする。
概要	<p>主催；地方議員研究会 テーマ；決算は語る 第1部&第2部 (決算審議特別セミナー) 講師；市川克美氏 (寝屋川市 指導役 元、寝屋川副市長) 概要；第1部</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 役所からみた決算委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・春の当初予算審議と秋の決算審議は年間を通じての一大イベント ・議員として大いなる見せ場であり、行政としても議員評価している ・行政は委員長の議事進行 (捌き) にも注目している ・研鑽審議は、行政の心理として座り心地が悪い 2. 議員がすべき決算の活かし方 <ul style="list-style-type: none"> ・決算書及び決算説明資料でピックアップすべき事務事業は予算審議議事録等で確認しておく ・決算カードを活用して類似団体の比較を行うことで本市の状況が分かる ・地方財政に関する基本的な知識があれば、財政的質疑にリアリティが増す 3. 決算で聞くべきこと、聞いてはダメなこと <ul style="list-style-type: none"> ・決算書及び決算説明資料でピックアップすべき事務事業は予算審議議事録等で確認しておく ・行政区内の地域差を埋める事業や取り組み、費用対効果以外の波及効果 ・思い込みや好みや感覚での批判は評価を下げる (職員の努力や工夫を想像) ・一方的な批判や事業失敗の烙印は NG 4. 実例から学ぶダメな質疑 <ul style="list-style-type: none"> ・法律に基づく運用に対して“逸脱”を要望する等は NG ・統計データを聞いてもその後に二の矢が無い質疑は NG ・「テレビで見たが・・・」等動機・背景が軽すぎる質疑は NG

<p>概要</p>	<p>概要；第2部</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 役所に刺さる良い質疑の実例 <ul style="list-style-type: none"> ・改善のため経費を投入しても実績が上がらない事項あるいは部署廃止・人員削減等を行って実績が上がっていない事項 ・実績数字だけではなく、具体的な取り組み状況を聞くことは、担当課にとっても取り組みをアピールできありがたく感じる。(以外と少ない質疑) ・まず評価すべき点を評価した後に課題を指摘すると好印象を与える 2. 行政の急所にテキサスヒットする質疑 <ul style="list-style-type: none"> ・他の公的機関との連携不足を指摘すると、データを把握せず機械的に行っている場合汪弁に窮することがある。(要資料請求) ・議会指摘事項を議事検索する中で、「調査・研究する」に対する進捗状況を確認する 3. 令和5年度決算で必ず聞くべき事業 <ul style="list-style-type: none"> ・歳入面は、地方交付税交付金、ふるさと納税等の推移及び国保等の滞納状況は毎回注力する必要あり ・契約先が異なる委託料や報償費は、同一事業の総額は大きな変動は無いが、内訳で差異が生じている事業 ・各種契約における随意契約の状況及び理由は厳しくチェック ・災害・減災対策、子育て支援等全国的なトレンド政策の効果・成果の確認 ・決算審議前に資料請求を積極的に行うことで有効な質疑が可能 4. 決算審議から一般質問の議員活動への連動の勧め <ul style="list-style-type: none"> ・決算審議を議員キャリアに生かすことを実行する。例えば、実績が伴わない予算がショートしている場合、理由や課題は問うべきだが、そこで終わらせることなく、次回の一般質問につなげる ・決算審議は、議会も行政も原点に立ち戻るチャンスと捉えるべき
<p>所感</p>	<p>執行部においては、決算審議までの資料づくり等準備に相当な時間と労力をかけて臨んでもらっていることは改めて実感した。私たち議員側も、決算審議にあたり資料の読み込み、政策・事業の評価はもちろんのこと市民の福祉、福利に反映しているかの観点で決算審議に望んでいく。</p> <p>本市の状況を把握する手段の一つとして、決算カードの活用は有効と教示されているが、客観的に本市の実態を判断、評価するためにも取り組みたい。</p> <p>決算審議にあたって、議員としてのレベルアップにつなげることも大切であるが、執行部の競争力、企画力、判断力等の向上に一助になるような場になるよう努めていきたい。</p> <p>多くの議会は、会派ごとに決算審議後に次年度の予算に対する要望活動を行っているが、我々も会派として取り組む必要がある重要な活動であり実現したい。</p>